

トップステイメント

国連グローバル・コンパクトにおける諸活動は、弊社の創業者精神、社是、経営理念と合致する点が数多くあります。その考え方に賛同し、2004年1月、国連グローバル・コンパクトに署名致しました。

2018年度(2018年4月1日～2019年3月31日)に実施した活動の概要は以下の通りです。

■人権分野

- ・ ハラスメント防止に関する基本方針と規程の周知、社内および外部機関へ相談窓口を設置、啓蒙活動を実施
- ・ 外国人留学生との交流を通して人権分野への関心を高める

■労働分野

- ・ 心理的な負担の程度を把握するためのストレスチェックを実施
- ・ 社員の産前・産後休暇制度及び育児休業制度の周知

■環境分野

- ・ 環境に配慮した会社の仕組みづくり
- ・ 環境に配慮した製品の開発・販売を全社的に進める

■腐敗防止分野

- ・ 道德に関する小冊子(ニューモラル)を配布
- ・ 下請法に関する取り組みを継続

2019年度におきましても、社内の活動の幅を広げ、サステナブルな世界の実現に貢献していけるよう、国連グローバル・コンパクトの10原則を引き続き支持して参ります。

2019年7月12日 代表取締役社長 蜂谷 真弓

人権分野に関する活動報告

2018年度の活動目標・内容	結果・評価	2019年度の活動目標・内容
①ハラスメント講習を実施	<ul style="list-style-type: none"> ・ハラスメント講習を実施(新規採用者) ・ハラスメント防止に関する基本方針と規程の周知、社内および外部機関へ相談窓口を継続して設置 	ハラスメント防止に関する取組を継続
②公益財団法人 坂口国際育英奨学財団主催の秋季一泊研修会への支援、外国人留学生との交流	<p>2018/9/8(土)～9(日)、山梨県富士吉田市にて開催。社員7名が参加。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当研修会の運営の一部を社員がボランティアで支援。 ・外国人留学生の研究発表を聞き、意見交換等を行う。 	今年も社員による支援を実施(2019/9/7(土)～8(日)開催予定)



▲ 公益財団法人 坂口国際育英奨学財団主催
秋季一泊研修会 (2018年度)

労働分野に関する活動報告

2018年度の活動目標・内容	結果・評価	2019年度の活動目標・内容
①教育・研修活動の持続的な推進	<ul style="list-style-type: none"> ・外部セミナーの活用 ・社内勉強会(新製品・営業のスキルアップ)の実施 ・e-ラーニングの活用を継続 ・階層別研修の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・外部セミナーの活用を継続 ・社内の各種教育・研修を充実(継続) ・e-ラーニングの活用を継続
②労働安全衛生法への対応	<ul style="list-style-type: none"> ・心理的な負担の程度を把握するための検査(ストレスチェック)を実施 ・安全運転講習会の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・ストレスチェックを年1回実施し、メンタルヘルス不調の未然防止に努める ・安全運転講習会の実施を継続
③産前・産後休暇制度、育児休業制度の周知	利用者なし	同制度の周知をはかる(継続)
④安全衛生委員会の開催	<ul style="list-style-type: none"> ・産業医による勉強会(疾患の事例や予防について)の実施と、社内への情報共有 ・産業医による健康診断結果のフォロー 	<ul style="list-style-type: none"> ・勉強会と情報共有の実施(継続) ・産業医による健康診断結果のフォロー(継続)
⑤防災対応	<ul style="list-style-type: none"> ・防災グッズを新入社員へ配布 ・防災館での災害体験の実施 ・安否確認システムの運用テスト実施 ・社員初動対応マニュアル(ポケットBCP)の更新 ・避難訓練の実施 ・災害対策本部の実働訓練を実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・安否確認システムの運用テスト実施(継続) ・社員初動対応マニュアル(ポケットBCP)の更新(継続) ・避難訓練の実施(継続) ・災害対策本部の実働訓練を実施予定(継続)

環境分野に関する活動報告

2018年度の活動目標・内容	結果・評価	2019年度の活動目標・内容
①環境に配慮した会社の仕組み作り ISO14001(2015年版認証)	<ul style="list-style-type: none"> ・ISO14001(2015年版)に則り、廃棄物の削減・グリーン購入の推進 ・エコキャップ運動への参加(※) ・廃棄文書のリサイクルシステム(書類の溶解処理)の活用 ・5Sの推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・廃棄物の削減・グリーン購入の推進を行う(継続) ・エコキャップ運動へ参加する(継続) ・廃棄文書のリサイクルシステムを活用する(継続)
②環境に配慮した事業所の改修	省エネタイプのエアコン導入および照明のLED化。(本社機能ビルの電気使用量が最大-37%削減)	・事業所内の省エネ化推進(継続)
③環境に配慮した製品の開発・購入・販売・提案	環境に配慮した製品の販売、提案件数: 336件	環境に配慮した製品の開発・購入・販売・提案の推進(継続)
④サプライヤーとの協力体制強化	<ul style="list-style-type: none"> ・汚染物質や管理物質の調査に関する管理強化と支援 ・グリーン調達基準書の見直し 	<ul style="list-style-type: none"> ・国内サプライヤーとの連携強化を推進(継続) ・グリーン調達基準書の見直し(継続)

(※) エコキャップ運動

2011年8月より、エコキャップ運動を全社で推進しています。

2018年度の収集合計は53.4kg(ポリオワクチン26人分。通算で161人分)となりました。

(提供先: 認定NPO法人 世界の子どもにワクチンを 日本委員会(JCV))



腐敗防止分野に関する活動報告

2018年度の活動目標・内容	結果・評価	2019年度の活動目標・内容
①道徳に関する小冊子の配布(『ニューモラル』/公益財団法人モラロジー研究所発行)	弊社、および弊社関連会社の全社員に配布	全社員への配布を行う(継続)
②下請法に関する取り組み	下請法について関係部門へ啓蒙活動を行う	関係部門へ啓蒙活動を行う(継続)
③反社会的勢力に関する規定の周知	<ul style="list-style-type: none"> 取引先との契約書へ、反社会的勢力に関する対応について織り込みを実施 反社会的勢力対応規程を社内外へ周知 	<ul style="list-style-type: none"> 新規取引先との契約書へ、反社会的勢力に関する対応について織り込みを実施(継続) 契約書への織り込みを実施(継続)



▲小冊子「ニューモラル」
(公益財団法人モラロジー研究所発行)

以上